より多くのホームセラーが値下げ

最近のRedfinのレポートによると、値下げされた売り家のシェアは8月に5%を超えました。これは2019年後半以来の最高値であり、通常は比較的横ばいの時期に発生しています。

Redfinによると、住宅購入の需要は引き続き堅調であり、市場は売り手に大きく傾いています。しかし、家の価格を高く設定している売り手は、入札なしで市場に1、2週間費やし、それに応じて提示価格を調整しています。

「住宅市場は春先よりも忙しくないですが、それでも典型的なものとはほど遠いです。不均衡の少ない市場への移行はゆっくりと進んでいます」とRedfinのチーフエコノミスト、ダリルフェアウェザーはリリースで述べています。「私たちが新学期の初めに近づくと、住宅価格は通常冷え込み、供給します風が弱まり、住宅の販売に時間がかかります。非常にゆっくりと、すべてが起こっています。住宅市場がすぐに完全に典型的な状態に戻るとは思わないが、私たちはその方向に向かっている。」

8月15日までの4週間のRedfinデータによると、住宅販売価格の中央値は前年比17%上昇して過去最高の361,973ドルになりました。

新しく上場された住宅の売値は、前年比10%上昇し、中央値は353,347ドルで、4月中旬以来の最低水準でした。また、6月27日までの4週間の過去最高値から2.2%下落しています。

新規上場は前年比で3%増加し、アクティブ上場は2020年から24%減少し、2020年10月以来の最小の減少となりました。

平均的な住宅の販売価格は、提示価格を1.8%上回り、7月11日までの4週間のピークから0.5%ポイント低下し、前年比2.7%ポイント上昇しました。

契約を結んだ住宅の半数は、市場に出てから最初の2週間以内にオファーを受け入れ、1年前の44%をはるかに上回り、36%は1週間以内にオファーを受け入れ、1年前の32%から増加しました。

販売された住宅は中央値で18日間で、6月下旬と7月の過去最低の15日から上昇し、年間35日から下降しました。

平均的な住宅の販売価格は、提示価格を1.8%上回り、7月11日までの4週間のピークから0.5%ポイント低下し、前年比2.7%ポイント上昇しました。

Source: The Title Report https://bit.ly/3k6Y09z

PROVIDENT TITLE COMPANY